

希望の風

October

下関市長の部屋

盛り上げたい！ 故郷下関を
若者の力とともに

「こ」
晋太郎です。私は、常々「この街にはもって」若

者」の力が必要だ！」と口にして
います。急激な人口減少の大き
な原因に若者の流出が挙げられて
いる今こそ、若者に希望を持つ
て、活躍してもらおうことが下関
にとっての急務であると考えて
いるからです。

先日、唐戸商店街の一角に、
若者を中心とした創業を応援サ
ポートする窓口として「創業支援
カフェ KARASUTA（カラス
スタ）」がスタートしました。カ
ラススタでは、創業支援に向けた
ワークショップの開催や、唐戸
商店街のにぎわいにつながるよ
うな会議スペースの常設など、
多目的な情報発信の場として地
域の活性化に貢献しています。

カ

ラストに多くの方々
が気軽に訪れ、さまざま
な情報を発信する中で、
人と人がつながり、情報がつな
がることで、新たな「血の通った
連鎖」が、下関に生まれることを
大いに期待していますし、私も
「発信」ということを日々重要視
しています。

市長として今最も取り組まな
くてはいけないことは、安心安
全な暮らしを確保しながら、新
たなにぎわいと元気を取り戻す
施策を打ち出していくことだと
考えています。

今まで故郷下関を振り返るこ
とがなかった若者には私からの
発信を一人でも多く受け取って
ほしい。そして、「生まれ育った
故郷下関を盛り上げたい！」と考
える仲間たちと、手を取り合い
頑張っていきたいと思えます。



KARASUTA. (カラススタ)で
カラススタスタッフと前田市長(右)

まち協 通信

豊北地区 まちづくり協議会

このコーナーは、各地で「住民自治による
まちづくり」に取り組む「まちづくり協議
会」が作成しています。特色のある活動や
取り組みなどについて紹介します。

課題解決の組織として

豊北地区まちづくり協議会は、
3つの基本方針を定め、平成27年
12月に発足しました。

【基本方針】

- 若者が住める町、希望の持てる町にする。
- 自分たちで出来ることは、自分たちで解決する。
- 自分たちで解決できない困難な課題は、行政や関連先に要望する。



シンポジウム

合併直後の豊北町の人口は1万
2698人でしたが、平成29年3
月には9323人となり高齢化率
も51%となりました。多くの不便
さと不安を抱えながら暮らしてい
る豊北地域で何ができるのか、試
行錯誤を繰り返しながら、できる
範囲での取り組みを行なっています。

部会ごとの取り組み

- ▽活性化部会
- ▽観光動向実態調査の実施
- ▽ワークショップの開催 豊北地区の活性化について
- ▽第一回フリーマーケットinほうほくの共催



第1回フリーマーケットinほうほく

まちづくり計画策定に着手

今年と来年でまちづくり計画書
を策定する予定です。

基本方針には「過疎化問題の解決」
を掲げ、「若い人が住める、住みた
くなる地域づくり。高齢者が安心
して暮らせる地域づくり」を目指し
て、維持と発展を織り混ぜた事業
計画が策定できればと思っています。
危機意識を持ちながらも、夢の
実現を願う多くの人に参画してい
ただきたいと願っています。

【協議会情報】

- 豊北地区まちづくり協議会
- ▽会長 和田 銀一郎
- ▽事務所 豊北町大字神田119
9番1(豊北生涯学習センター
内) ☎786-0010
- ▽ホームページ <http://www.lifeaccessory.net/machi/>



アンケート調査
(道の駅「北浦街道 豊北」)